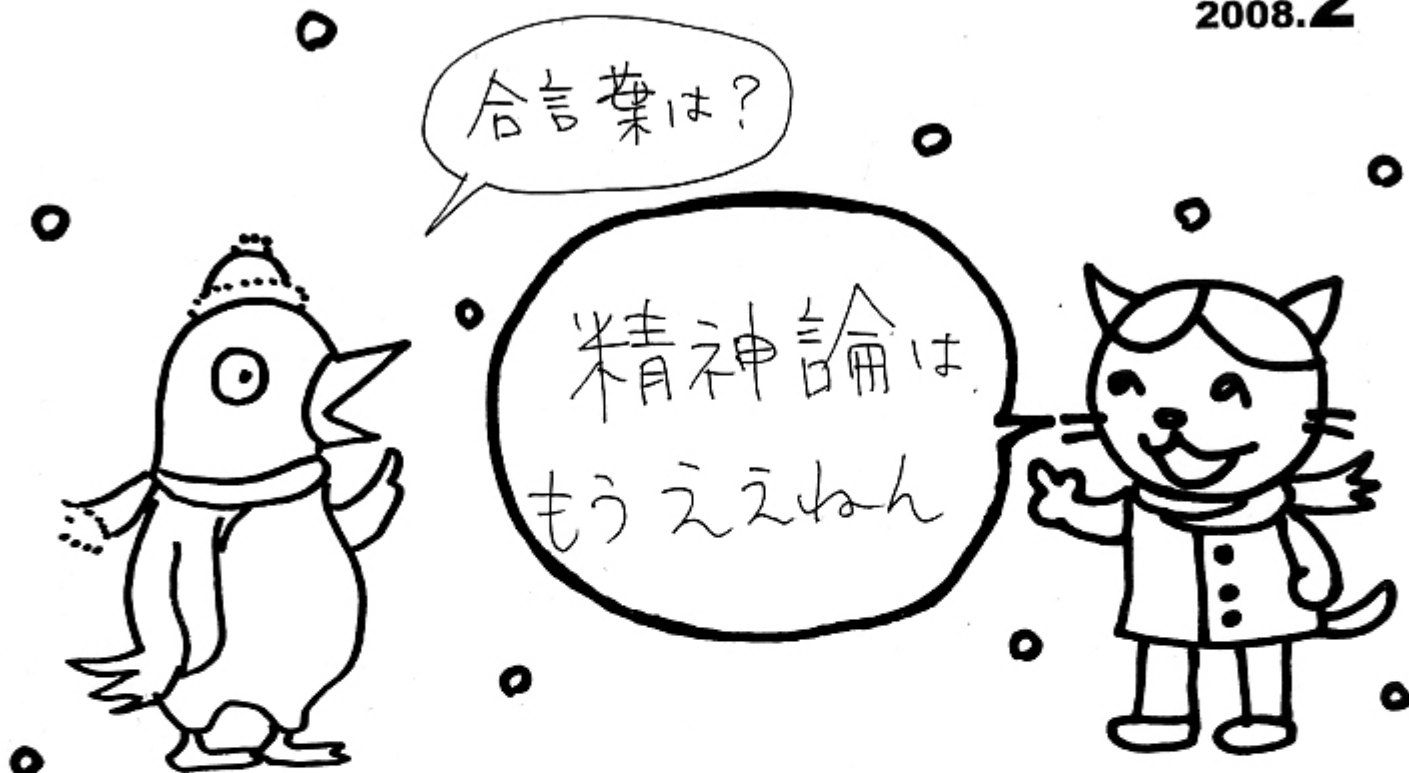


会話のきっかけレシピ通信 創刊号

2008.2



ぼての自己紹介

名前：ぼて

職業：社畜

趣味：ヒルネ

好きな言葉：棚からぼたもち

好きな食べ物：焼き鳥

苦手なもの：ちょっとした雑談

苦手な言葉：努力、前向き



どうぞ よろしく お願いします。

会話のきっかけレシピ通信 製作：grassgreen

ホームページ：<http://gg.penguinrain.net> (お問い合わせは、こちらのHPのメールフォームよりお願いします)

会話のきっかけレシピ通信 Vol. 1 2008年2月発行
※著作権は grassgreen に帰属します。

はじめに:合言葉は「精神論はもうええねん」

「人とうまく話せない」

昔からある悩みです。私自身子どものころからそうだったので、新聞の人生相談などで「人とうまく喋れません」てな悩みの相談があると、一生懸命読んだものです。

たいてい、回答欄には、判で押したようにこう書いてありました。

「話すのが苦手なら、聞き上手になってはどうでしょうか。自分から話すのは難しくても、相手の話を一生懸命聞けば、相手は必ずあなたに好感を持ってくれます」

しかし、この回答には当然のように省略されている前提があるんですね。「**苦手とはいっても、相手と会話するところまではこぎつけている**」という前提です。

「人とうまく話せなく」て悩む人は少なからずそうじゃないかと思うのですが、そもそも「他人に話しかけてもらえない」。「会話がスタートする」ところまでこぎつけていないんです。

つまり、「聞き上手になる」より**もっと前の段階でつまづいている**わけです。

もうひとつ、「話すのが苦手」相談に、これまた多い回答。

「うまく話せなくても、とりあえずニコニコしていれば大丈夫。笑顔が大切です」

「もっとリラックスしましょう」

「あなたは心に殻をつくっていませんか？もっと相手に心を開いて」

これらも非常にごもっともですが、じつに抽象的な「精神論」です。これでは具体的に何から始めればいいのか分からないや、と私は思いました。

* * *

「会話のコツ」みたいな本は世の中にたくさんあります。たいてい、ビジネス向けです。

これらの本に書いてあることの多くは、「何か伝えたいことを的確に伝える」ための「会話」です。

これはこれで勿論非常に大切なのですが、**会話というのはいきなり用件から入りません**。

どんな商談でも、近所の人との立ち話でも、たいてい「もうかりまっか？」「ボチボチでんな」的な、挨拶代わりの

雑談を最初に交わすものです。また、こういった雑談だけで終わる会話も、生活していたらたくさんあるのです。

* * *

さて、仕事での対人関係に悩む人で、「仕事はなんとかなるんだけど、休み時間などの雑談が苦手でごまっている」という人もこれまたたくさんいます(勿論私がそうなのですが)。

職場というのは仕事以外に共通項があまりありません。年齢もまちまち、住んでいる場所もまちまち。ですので、たいてい「あたりさわりのない雑談」をすることになります。

この「雑談」。実はテキトーなようで難しい。ファッションや食事と似ています。なんでもいいけど、TPOはある。正解がないからこそ、「用件を伝える」とは別のテクニックが必要になります。

私の場合、「人とうまく話せない」の根本の問題はここでした。**会話の冒頭にくる「雑談」が苦手。だから、会話のきっかけがつかめない**。

では、いっそ「みんなの雑談」を収集してみよう、と考えたのです。友人が、引っ越していった先のご近所づきあいについて、「最初は話すことなく困ったけど、『手持ちのカード』が増えてくるとラクになった」と言っていたのを聞いて、思いつきました。

みんなが話している「会話のきっかけ」を集めて「手持ちのカード」を増やせば、リラックスできて笑顔のひとつも出てくるんじゃないか？

* * *

こうして出来上がってきたのが、「会話のきっかけレシピ」です。

合言葉は「**精神論はもうええねん**」。いままで精神論で片付けられてきたお悩みに役に立つ、具体的なツールを作りたい。

まずは「会話のきっかけレシピ」をいろんな人に知ってもらおうべく、こんな通信を作ることになりました。

こんごは「会話のきっかけ」だけでなく、他のニッチな悩みも拾いながら地道に色んなツールをつくってゆきたいと思っています。どうぞお付き合いください。